

漁海況情報

沖縄県水産海洋技術センター

901-0354 沖縄県糸満市喜屋武1 5 2 8

電話：098-852-4530・4531 F A X：098-852-4533

2018年(平成30年)10月 第551号

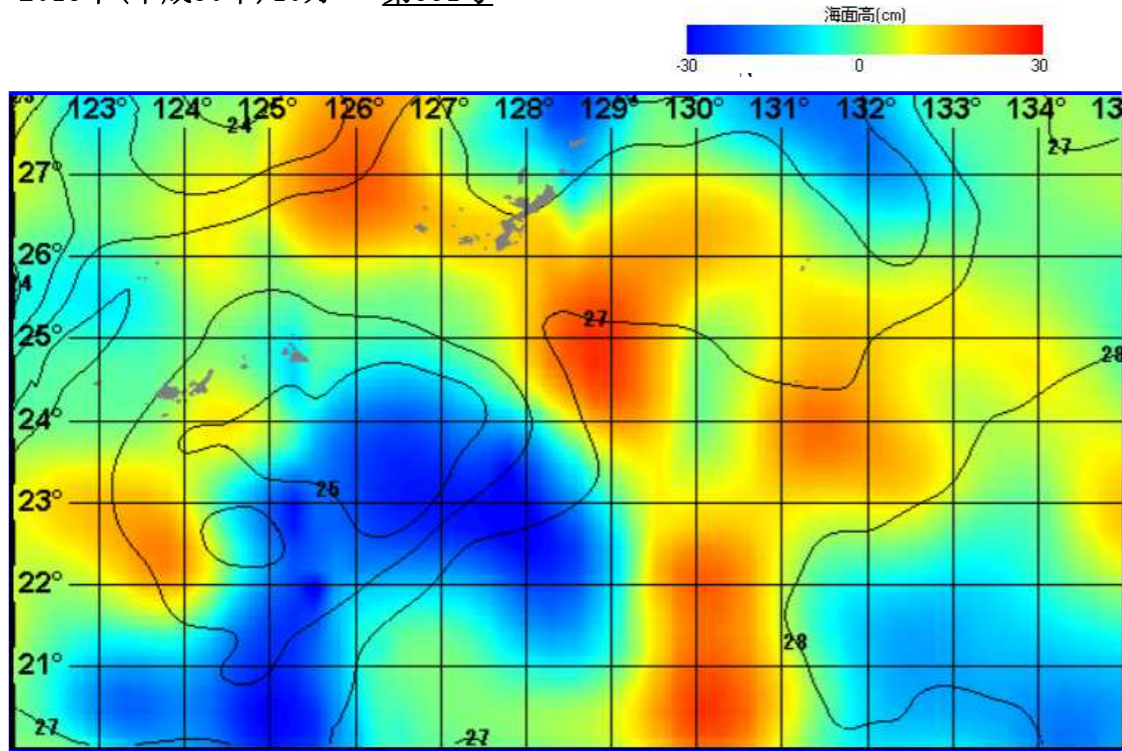


図1. 海況案内人による表面水温(等温度線)・海面高度分布(塗り分け)図(2018年10月31日)

海況案内人の最新情報は下記URLで行っています。

URL:<http://www.pref.okinawa.jp/fish/>

携帯電話からのアクセスは右のQRコードを利用してください。

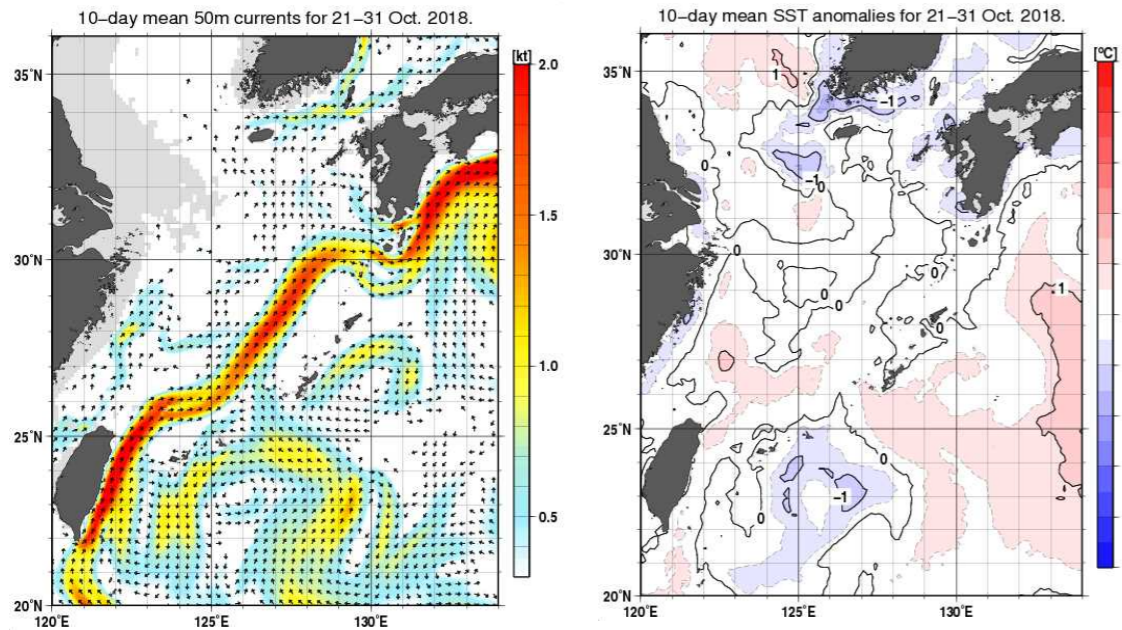


図2. 2018年10月下旬海流図及び海面水温偏差図(気象庁HPより)

漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域ではキハダ、シビ、シイラ。伊良部ではシビ、キハダ、カツオの水揚げが多かった。

表1. 10月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ総漁獲量
シイラ	4.6	0.5	1.1	0.8	7.0	0.8	3.6
カサギ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
沖サワラ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5
カツオ	0.1	0.0	0.0	0.1	0.3	1.8	14.6
キハダ	19.5	1.7	0.0	0.0	21.2	11.1	103.1
シビ	2.0	3.0	1.2	7.1	13.3	14.9	47.6
メバチ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	26.1	5.3	2.4	8.1	41.8	28.7	170.4

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

表2. 6~10月のキハダ(10kg以上)漁獲量(t)

年/月	沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)					6-10計
	6月	7月	8月	9月	10月	
2014年	13.6	22.1	16.5	18.8	12.8	83.9
2015年	53.0	32.2	37.7	56.8	24.9	204.6
2016年	50.0	34.9	34.1	33.1	18.8	170.8
2017年	30.6	34.9	24.1	26.1	16.0	131.7
2018年	12.4	48.6	47.9	43.8	21.2	173.9

表3. 6~10月のシビ(10kg未満)漁獲量(t)

年/月	沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)					6-10計
	6月	7月	8月	9月	10月	
2014年	5.6	8.3	11.8	11.2	9.3	46.2
2015年	9.3	6.5	5.6	5.8	4.3	31.6
2016年	5.5	7.2	3.6	6.8	4.5	27.6
2017年	13.8	6.4	12.9	14.1	5.6	52.8
2018年	9.8	9.6	6.8	12.4	13.3	51.9

表4. 6~10月のシイラ漁獲量(t)

年/月	沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)					6-10計
	6月	7月	8月	9月	10月	
2014年	2.5	0.2	0.6	3.0	3.4	9.6
2015年	1.3	0.1	0.3	2.7	4.1	8.5
2016年	0.7	0.1	0.1	1.2	10.4	12.7
2017年	1.9	0.1	0.4	2.5	1.4	6.4
2018年	0.9	0.2	0.6	1.4	7.0	10.1

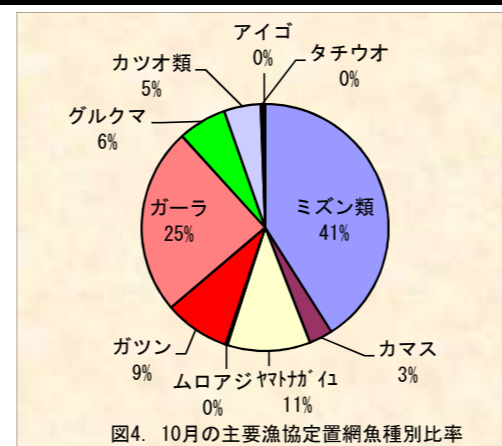


図4. 10月の主要漁協定置網魚種別比率

定置網：10月の全体の漁獲状況は 5,731.5kg で、先月(5,338.0kg)と比べて増加した。主要漁協の漁獲ではミズン類とガーラで合わせて6割以上を占めている。(表5、図4)。

注記：統計数値は、小数点第二位以下を四捨五入したため、計と内訳が一致しない場合があります。



スジアラ(アカジンミーパイ)

糸満ではキハダが19.5t、沖縄市ではシビが7.1t漁獲された。港川ではキハダが1.7t、シビが3.0t漁獲された。知念では、シビが1.2t漁獲された。また伊良部では、シビが14.9t、キハダが11.1t漁獲された(表1)。

沖縄本島南部海域における過去5年間の6~10月期のキハダ、シビおよびシイラの漁獲量を表2~4に示した。更に過去4年間の1~12月期のキハダの漁獲量を図3に示した。

10月のキハダの漁獲量は21.2tで、9月(43.8t)に比べて22.6t減少。昨年の10月(16.0t)と比較して5.2t増加した(表2、図3)。シビの漁獲量は13.3tで、9月(12.4t)と比べて0.9t増加した(表3)。シイラの漁獲量は7.0tで、9月(1.4t)と比べて5.6t増加した(表4)。

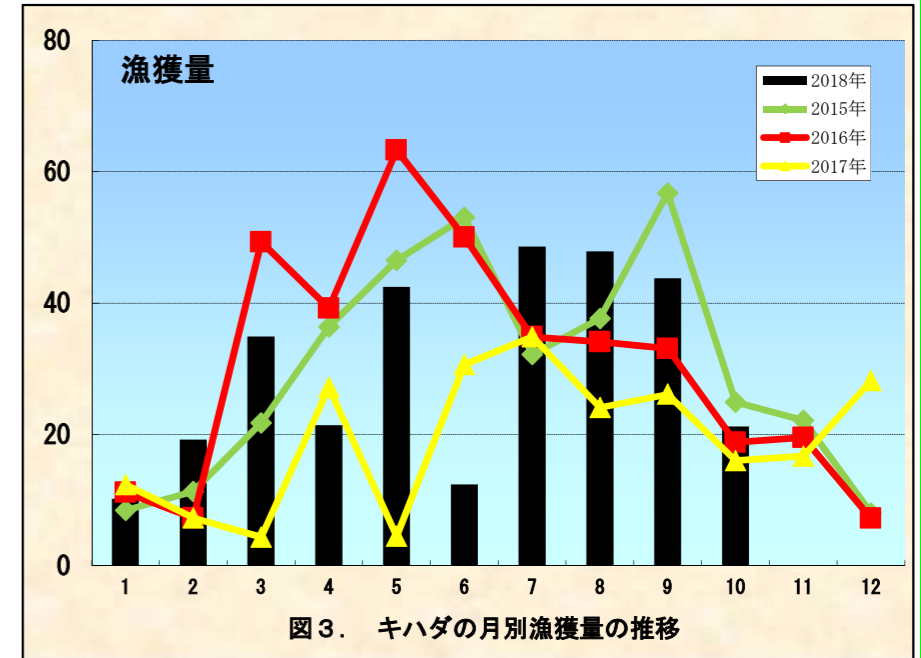


図3. キハダの月別漁獲量の推移

表5. 10月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置			小型定置			合計	県内定置総漁獲量
	読谷	知念	国頭	名護	勝連	与那城		
ミズン類	1,529.0	1.7	0.0	622.6	0.0	190.0	2,343.3	2,343.3
カマス	96.8	74.3	0.0	5.8	0.0	0.0	176.9	176.9
ヤトガハ	616.2	2.2	0.0	2.9	0.0	0.0	621.3	621.3
ムロアジ	13.9	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.9	14.9
ガツン	259.4	182.7	0.0	10.0	0.0	39.0	491.1	491.1
ガーラ	1,072.4	243.7	0.0	76.6	0.0	6.1	1,398.8	1,398.8
グルクマ	104.2	257.3	0.0	3.2	0.0	0.0	364.7	364.7
カツオ類	269.8	0.0	0.0	5.5	0.0	0.0	275.3	275.3
タチウオ	5.0	12.8	0.0	0.7	0.0	0.0	18.5	18.5
アイゴ	0.0	0.5	0.0	11.3	0.0	1.3	13.1	26.7
合計	3,966.7	776.2	732.5	738.6	0.0	236.4	5,717.9	5,731.5

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。